

県学校給食献立コン最優秀

鶴田小が受賞報告

昨年11月に青森市で開かれた県学校給食献立コンクールに出場し、好成績を挙げた鶴田小6年生児童らがこのほど、中野堅司鶴田町長を表敬訪問。大会の結果や苦労したポイントなどを報告した。

大会は、県教委、県学校給食会などが主催した。鶴田小は6年生6人と教諭、町学校給食共同調理所の職員ら計10人が「アップルチーム」つるの子チームの2組を結成し、小学生の部に出場した。出品したメニューは

6年生全員が考案した献立をもとに作成。町



中野町長⑥を表敬し、好成績を報告した鶴田小児童ら

内産米の炊き込みご飯「マタギ飯」や、おから入りのみそを使った「ほたての味噌貝焼

ち味を生かしたメニューが評価され、アップルチームが最優秀賞に選ばれた。

中野町長は「給食は子どもたちの健康のために重要なもの。賞を受けたことは、町民みんなが喜んで思うところをたたえた。アップルチームの小野紗矢佳さんは「最優秀賞になって本当によかった」、優良賞を受賞したつるの子チームの三浦玲緒奈さんは「本番ではみんなで協力し、練習通りに作れたのが良かった」と話していた。(斎藤義隆)